

アラスカ大学との共同学生ロケット打ち上げ実験

Joint Research of Student Rocket Launch with University of Alaska

平田 真也 [1]; 井口 恭介 [2]; 山田 尚史 [3]; 明石 健二 [4]; 今村 真 [5]; 遠山 文雄 [6]; 東海大学学生ロケットプロジェクトチーム 遠山 文雄 [7]

Shinya Hirata[1]; kyosuke Iguchi[2]; Hisashi Yamada[3]; Kenji Akashi[4]; makoto imamura[5]; Fumio Tohyama[6]; Tohyama Fumio Tokai Student Rocket Project(TSRP) Team[7]

[1] 東海大・院・航空宇宙; [2] 東海大学大学院 工 航空宇宙; [3] 東海大・工・航空宇宙; [4] 東海大・工・航空宇宙; [5] 東海大・工・航空宇宙; [6] 東海大・工・航空宇宙; [7] -

[1] Aeronautics and Astronautics, Tokai Univ.; [2] Tokai Univ.; [3] Aeronautics & Astronautics, Tokai Univ.; [4] Dept. of Aeronautics and Astronautics, Tokai Univ.; [5] Aeronautics and Astronautics, Tokai Univ.; [6] Aerospace, Tokai Univ.; [7] -

<http://www.ea.u-tokai.ac.jp/srp/>

1995 年以来アラスカ大学フェアバンクス校 (UAF) と共同で、学生ロケット打ち上げによる科学観測実験を行ってきたが、2009 年 1 月 10 日に 3 機目となる学生ロケット SRP-5 号機を、アラスカ州ポーカーフラット射場から打ち上げた。ロケットは NASA から提供された Orion モーターで、ペイロード部は構造体を含め、すべて日米の学生が設計製作した。最高高度は約 98.5km で、良好な飛翔データが得られ、現在解析中である。今回のロケット実験では、我々は北極圏オゾン層観測のための紫外線センサ、下部電離圏の電流検出と姿勢測定を目的としたフラックスゲート磁力計および太陽センサを製作、搭載した。

本発表では、ロケット打ち上げ実験の概要と解析結果速報および学生主導の宇宙科学観測実験の国際共同プロジェクトの意義を述べる。